

平成9年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡) 関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成9年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成10年9月4日(金)、池之端文化センターにおいて開催された。

本年度供試された冬作関係除草剤は、作用性試験

7剤、適用性試験12剤で、生育調節剤はなかった。このうち適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。その結果は、次表のとおりである。

平成9年度 冬作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

A. 除草剤

1. 小麦

薬剤名	中央判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯	使用上の注意	
1. FKH-15 水和 ・フタホス 30% ・DCMU 15%	実・ 継	一年生 雑草全 般	土壌	播種後 雑草発生前	20~30g (散布水 量10L)	埴土 ~埴土	温暖地	1) 砕土・整地・覆土をていねいに行き均一に散布する 2) ヤムクウに効果が劣る場合がある	地域拡大 砂壌土での薬害の確認 効果の確認(ヤムクウ)
2. MON-96A液 ・グリホサートアンモニウム塩 41%	継								効果・薬害の確認
3. NC-362 水和 ・シフルフェニカン 4% ・IPC 30%	実・ 継	一年生 雑草全 般	土壌	播種後 雑草発生前	20~25g 散布水量 10L	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1) 砕土・整地・覆土をていねいに行き均一に散布する 2) 覆土深が浅くならないように注意する 3) 一過性の白斑を生じることがある	・砂壌土での薬害の確認 ・処理時期の拡大
			茎葉 兼土壌	小麦2~4葉期					
				小麦 2~3葉期	15~20g 散布水量 10L	埴土 ~埴土	寒冷地 以西		
4. RSH-44 乳 ・シフルフェニカン 3.7% ・トリフルリン 37%	実・ 継 (前回通り)	一年生 雑草全 般	土壌	播種後	15~25mL 散布水量 10L	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1) 砕土・整地・覆土をていねいに行き均一に散布する。	・処理時期の拡大 ・地域拡大
					20~25mL 散布水量 10L		寒冷地 以西		
							寒冷地		
5. SC-224 液 ・グリホサートトリメチル塩 38%	実・ 継	一年生 雑草全 般およびシバムギ	茎葉	耕起7日以前 雑草生育期	20~40mL 散布水量 2.5~10L (但し寒地における少水量散布では薬量20mLのみで使用する)	全土壌	全域	1) 少水量散布の場合は専用ノズルを使用する。 2) 周辺作物に飛散しないように注意する 3) 展着剤を加用しない	・寒冷地以西の多年生雑草について
6. WOC-01 液 ・グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	実・ 継	一年生 雑草全 般	茎葉	耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下)	25~50mL 散布水量 10L	全土壌	寒冷地 以西	1) 周辺の作物に飛散しないように注意する 2) 展着剤を加用しない	・寒冷地以西での多年生雑草に対する効果について
		多年生 雑草全 般(シバムギ等)			50mL 散布水量 10L		寒地		

II. 大 表

薬 剤 名	中央判定	使 用 基 準						継続の内容	
		対象 雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯		使用上の注意
1. YF-65 ^① 液 ・シクワット [®] ・ロミ ト [®] 7% ・ハ [®] ラコ [®] ・シ [®] クロ ト [®] 5%	実・ 継 (前回 通り)	一年生 雑草全 般	茎葉	耕起前 雑草生育期 播種後 ～出芽前 (耕起後残 存雑草対 象)	60～100 mL 散布 水量10L	全土壌	寒冷地 温暖地 温暖地 以西	1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する。 2) 展着剤を加用 する。	・地域拡大

III. い ぐ さ

薬 剤 名	中央判定	使 用 基 準						継続の内容	
		対象 雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯		使用上の注意
1. KPP-314 フロアブル ・ヘントキザゾン 2.9%	実・継	一年生 雑草全般	土壌 (湛水)	植付後 雑草発生前 (11月～12月) 春雑草発生前 (3月～4月)	50mL	全土壌 (砂土を 除く)	温暖地 西部 以西	1)原液がいぐさ 茎に付着すると 褐変症状を生じ るので収穫茎発 生後は使用しな い。 2)他剤との組合 せて使用する。	・水口処理での 効果、薬害の検 討
2. KPP-314-1kg 粒 ・ヘントキザゾン 1.5%	継								・効果、薬害の確 認
3. RYH-118-1kg 粒 ・オキサノアルキル 0.5%	実・継	一年生 雑草全般	土壌 (湛水)	植付後 雑草発生前 ～発生始期 (11月～12月) 春雑草発生前 ～発生始期 (3月～4月)	100 g	塩土 ～塩土	温暖地 西部 以西	1)他剤との組合 せて使用する。	・適用土壌の拡 大

IV. 水稻刈跡

薬 剤 名	中央判定	使 用 基 準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意	
1. MON-96A 液 ・グリホサートアンモニウム塩 41%	実・継	一年生雑草全般	茎葉	水稻刈取後雑草生育期	25～50mL 散布水量5～10L	全土壌	温暖地以西	1) 周辺の作物に飛散しないように注意する。	・多年生雑草に対する薬量と処理時期の確認。
2. WOC-01 液 ・グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	実・継	一年生雑草全般	茎葉	水稻刈取後雑草生育期(ミガヤリは塊茎形成盛期まで)	25～50mL 散布水量10L	全土壌	温暖地以西	1) 周辺の作物に飛散しないように注意する。	・散布水量の低減
		多年生雑草			50～100mL 散布水量10L				